

●出題の意図

公募制推薦入試（共通）

数学Ⅰ・Aにおける基本的な概念を理解し、それらを使った基礎的な計算力と論理的思考力を身に付けているかを評価する。

このため、教科書の章末問題に近い、あるいは練習問題に近い難易度で構成されている。

学校推薦型選抜（公募）Ⅰ期 1 日目

【問題 1】は小問集合の形式で、多項式や因数分解、連立 1 次不等式の計算など、数学Ⅰの基礎知識とそれに基づいた計算力を問うている。

【問題 2】の放物線の頂点・平行移動や、【問題 3】の体積を求める図形の問題、【問題 4】の箱ひげ図に基づく統計の問題は教科書の章末問題に近い難易度であり、各分野の基本と論理的思考力が身に付いているかを確認している。

学校推薦型選抜（公募）Ⅱ期

【問題 1】は小問集合の形式で、展開、因数分解、1 次不等式の計算など、数学Ⅰの基礎知識とそれに基づいた計算力を問うている。

【問題 2】の放物線における定数を求める問題や、【問題 3】の正弦定理を用いた図形の問題、【問題 4】のデータの代表値や散らばりの度合いに関する問題は教科書の章末問題に近い難易度であり、各分野の基本と論理的思考力が身に付いているかを確認している。

一般入試（共通）

数学Ⅰ・Aにおける基本的な概念を理解し、それらを使った基礎的な計算力と論理的思考力を身に付けているかを評価する。また、いくつかの基本事項を組み合わせることで応用的な考えができるかを問う。

このため、教科書の章末問題に近い、あるいは練習問題に近い難易度で、いくつかの基本事項の組み合わせを要する問題で構成されている。

一般選抜（前期）1 日目

【問題 1】は小問集合の形式を取り、展開、因数分解、根号を含む式の計算、連立 1 次不等式、絶対値を含む方程式など、数学Ⅰの基礎知識とそれに基づいた計算力を問うている。

【問題 2】の 2 次関数と【問題 4】の確率は基本事項の理解を背景に、論理的思考力を問う総合的な問題である。

また、【問題 3】は正弦定理・余弦定理を段階的に用いた計算力を問う標準的な図形問題である。